

当科で小手術を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学水道橋病院口腔外科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

研究課題：当科における直接経口抗凝固薬（DOAC）服用患者の歯科小手術に関する検討

平成 23 年から平成 25 年にかけてワルファリンカリウム錠に代わる直接経口抗凝固薬(DOAC)が開発され、内服されている患者様が年々、増加傾向にあります。DOAC を内服されている患者様への歯科治療はワルファリンカリウム錠を服用されている場合と同様に対応することが推奨されておりますが、服用の継続や中止に関する報告は少ないのが現状です。今後、科学的根拠に基づいて診療を行っていく必要があります。まずは今回、当科で DOAC を内服している患者様に対する歯科小手術における現状を把握することを目的に研究を計画致しました。

詳細は以下に記載致しましたので御確認ください。

1. 直接経口抗凝固薬(DOAC)はプラザキサ(ダビガトラン)、イグザレルト(リバーロキサバン)、エリキュース(アピキサバン)、リクシアナ(エドキサバン)です。
2. 本研究の対象は平成 26 年 4 月から平成 29 年 3 月までの 3 年間に直接経口抗凝固薬(DOAC)を内服され、当科で歯科小手術を行った患者様です。
3. 対象となる患者様はカルテより抽出とし、性別、年齢、処置内容、DOAC 休薬の有無、術者経験年数、処置時間帯、局所止血法、後出血の有無を調査致します。
4. 今回の成果は学会や専門誌の論文発表に使用されますが、名前や個人を特定する情報が公開されることはありません。
5. 研究への協力は患者様の自由な意思で決定できます。研究への協力を希望しない場合はその旨を研究責任者に申し出てください。協力が得られないことで診療上にいかなる不利益も被ることはありません。
6. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。
7. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先
東京歯科大学 口腔病態外科学講座
研究責任者 星野 照秀
所属長 片倉 朗
連絡先 03-6380-9246